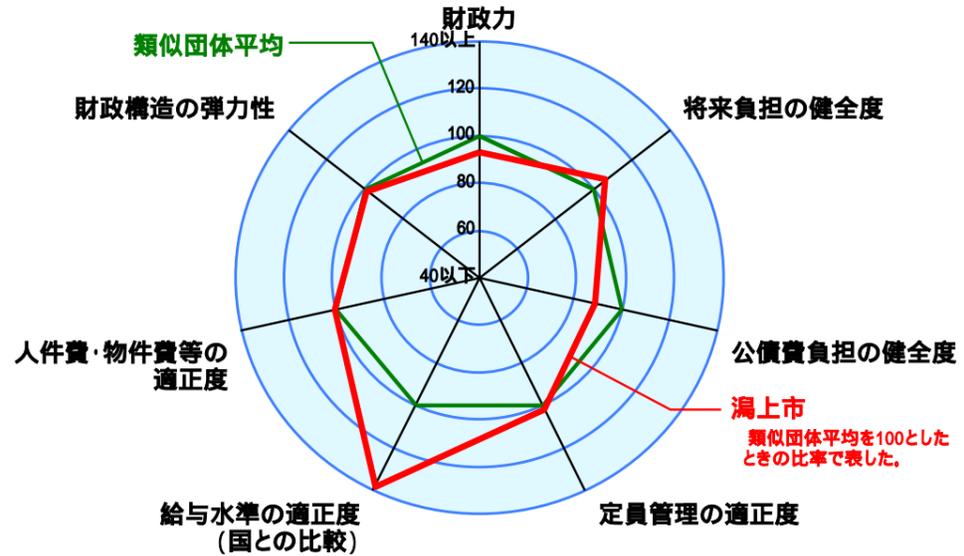
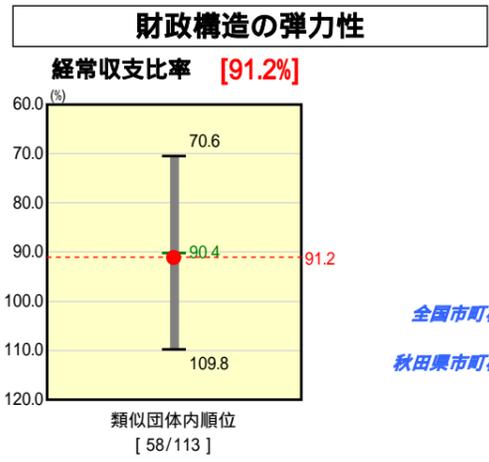
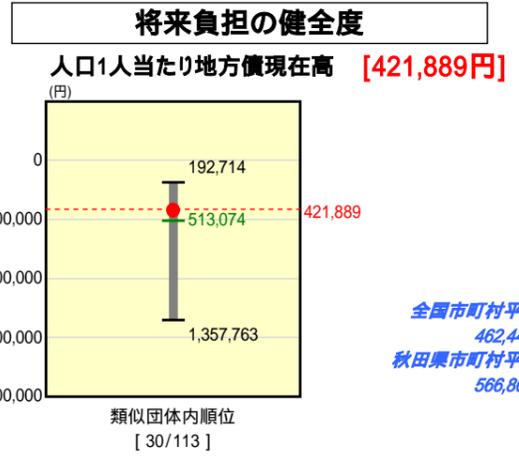
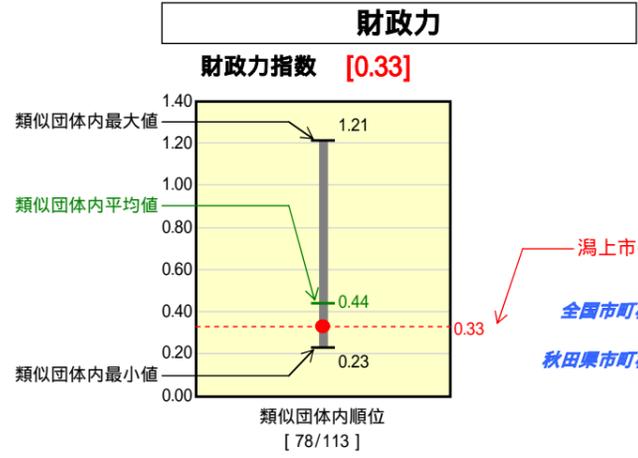


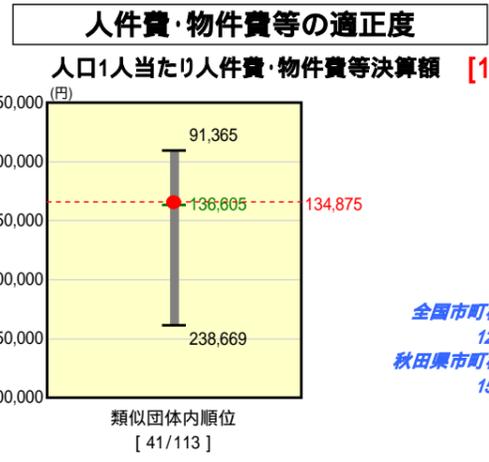
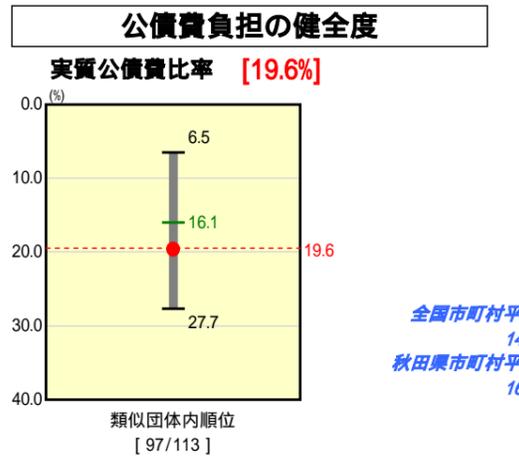
市町村財政比較分析表(平成17年度普通会計決算)

秋田県 潟上市

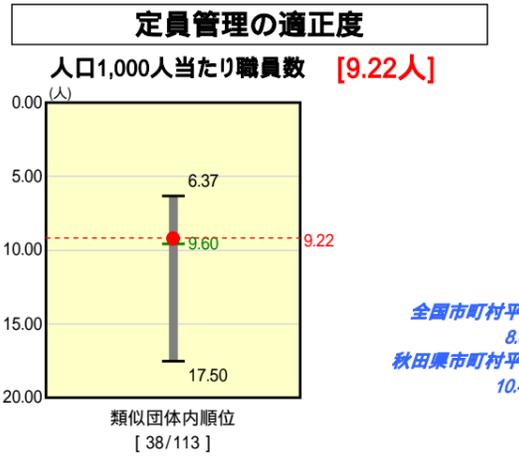
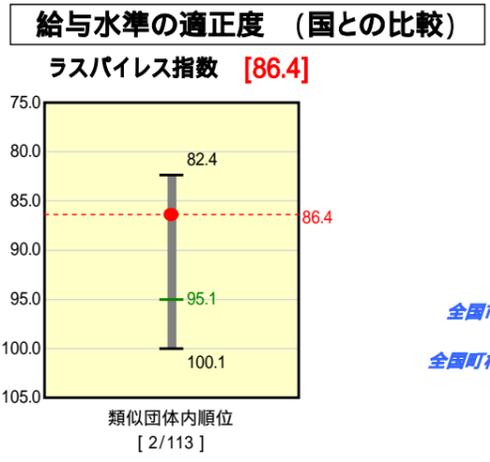
人口	36,016 人	(H18.3.31現在)
面積	97.96 km ²	
歳入総額	13,406,136 千円	
歳出総額	12,993,052 千円	
実質収支	382,289 千円	



類似団体とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類した結果、当該団体と同じグループに属する団体を言う。



人件費、物件費及び維持補修費の合計である。ただし人件費には事業費支弁人件費を含み、退職金は含まない。



分析欄

財政力指数
市経済の中核となる企業もなく、所得水準も低いことから税収が少なく財政力指数は低くなっている。今後は工業団地への企業誘致を推進し歳入基盤の強化・歳入の確保に努めると共に、行政改革や定員適正化計画に基づいた歳出の見直しを行い、財務基盤の強化に努める。

経常収支比率
公債費や扶助費、施設管理費等が高く経常収支比率は類団平均を上回っている。今後は行政改革を進め改善を図る。

実質公債費比率
バブル期の積極的な投資と下水道事業の推進により実質公債費比率は19.6%と高くなっている。普通会計においては、借入額が元金償還額を超えないようにするほか、財政的に有利な合併特別債を活用するなどして改善を図る。下水道事業にあっては、加入促進と使用料の見直しにより増収を図り改善を図る。

人口1人当たり地方債現在高
大型事業を抑制していることから1人当たり地方債現在高は前年度比で約13千円の減の422千円となり、類団平均を下回っている。

ラスバイレス指数
全国で低位にある秋田県においても最低水準にある。今後は人事院勧告に沿って給与水準の適正化を図る。

人口1,000人あたり職員数
前年度の9.56人から、行政改革により9.22人に減少している。定員適正化計画を着実に実施し、5年間で、5%以上の削減を目指す。

人口1人当たり人件費・物件費等決算額
ラスバイレス指数が低く、職員数が減っていることから人件費分については減っているが、各種施設が多いことから物件費相当分が多くなっている。総額では類団平均を若干下回ってはいるが、行財政改革の中で、さらに削減を進める。